

平成24年度第2回千葉県図書館協議会配布資料一覧

1 次第

- 2 平成24年度千葉県立図書館運営状況（経過報告） 【資料1-1】
- 3 平成24年度図書館サービス目標【上半期（9月末現在）状況】 【資料1-2】
- 4 (1)「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（素案） 【資料2-1】
(2)千葉県立図書館の今後の在り方〈概要〉 【資料2-2】

千葉県図書館協議会委員名簿（第31期）

任 期 平成23年7月22日～平成25年7月21日

平成24年12月7日現在

番号	区分	氏 名	役 職 等	備考
1	学校教育関係者	しまざき よしあき 島崎 喜明	船橋市立前原小学校教頭 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会副会長)	出席
2		いわさわ けんいち 岩澤 健一	千葉県立八千代高等学校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会会長)	欠席
3		ゆのめ ちづ 湯目 千津	千葉県立佐倉高等学校教諭 江戸川大学非常勤講師	出席
4	社会教育関係者	かいほ たかのり 海保 孝則	千葉県公民館連絡協議会副会長	出席
5		ながの しんご 永野 慎護	千葉県PTA連絡協議会相談役	欠席
6		もりやま かおる 森山 薫	千葉県特別支援学校PTA連合会会長	出席
7	家庭教育関係者	かわづ としこ 川津 敏子	船橋市地域文庫連絡会副代表	出席
8	学 識 経 験 者	さとう もとこ 佐藤 宗子	千葉大学教育学部教授	欠席
9		たけうち ひろや 竹内比呂也	千葉大学附属図書館長	出席
10		もとよし さだお 本吉 貞夫	君津市教育委員会教育長	出席

平成24年度第2回千葉県図書館協議会次第

日 時 平成24年12月14日（金）
午後2時から
場 所 千葉県立中央図書館 講堂

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 報告事項

報告1 平成24年度千葉県立図書館運営状況について **【資料1】**

報告2 新図書館電算システムについて

報告3 その他

(2) 協議事項

協議1 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画（素案）について

【資料2】

協議2 その他

(3) その他

4 その他

5 閉 会

【資料1-1】

平成24年度千葉県立図書館運営状況(経過報告)

上段：平成24年9月30日現在

下段：平成23年9月30日現在

図書館事業概要

項目		館名	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
資料整備	資料総数	受入冊数	3,378冊	2,018冊	3,213冊	8,609冊
		(内購入冊数)	4,968冊	2,244冊	3,642冊	10,854冊
			(2,523冊)	(1,487冊)	(3,018冊)	(7,028冊)
		購入費	(2,921冊)	(1,661冊)	(3,199冊)	(7,781冊)
			31,000千円	19,000千円	27,000千円	77,000千円
	蔵書数	32,000千円	20,000千円	31,000千円	83,000千円	
		852,087冊	254,887冊	249,261冊	1,356,235冊	
	新聞・雑誌・法規集	857,145冊	250,310冊	240,782冊	1,348,237冊	
		83紙・3,621誌・35種	82紙・634誌・2種	28紙・372誌・3種	193紙・4,627誌・40種	
	サービス業務	利用状況	81紙・3,582誌・35種	88紙・614誌・9種	28紙・373誌・4種	197紙・4,569誌・48種
入館者数			53,733人	115,295人	94,851人	263,879人
協力業務	資料複製サービス	有効登録者数	48,114人	117,592人	96,683人	262,389人
		個人貸出	16,512人	20,104人	11,588人	48,204人
			15,146人	24,660人	12,058人	51,864人
		参考調査 照会・質問	33,906冊	33,895冊	29,285冊	97,086冊
			29,657冊	33,310冊	29,872冊	92,839冊
	県立図書館蔵書貸出冊数	75,330枚	46,273枚	6,654枚	128,257枚	
		63,712枚	46,237枚	5,469枚	115,418枚	
	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	7,253件	5,480件	3,709件	16,442件	
		7,052件	6,284件	3,675件	17,011件	
	管内人口(平成24年1月1日)		18,920冊	8,029冊	20,282冊	47,231冊
		21,555冊	9,807冊	17,738冊	49,100冊	
		21,101冊	17,971冊	7,133冊	46,205冊	
		19,462冊	16,765冊	6,588冊	42,815冊	
		6,206,334人				

備考 蔵書数にはマイクロ資料、視聴覚資料を含む。

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備

資料整備実績

(平成24年9月30日現在)

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
資料受入冊数	3,378 冊	2,018 冊	3,213 冊	8,609 冊
(うち購入冊数)	(2,523 冊)	(1,487 冊)	(3,018 冊)	(7,028 冊)
(うち寄贈冊数)	(855 冊)	(531 冊)	(195 冊)	(1,581 冊)
千葉県関係資料 (購入・寄贈の内数)	487 冊	309 冊	116 冊	912 冊
逐次刊行物 (購入)	159 タイトル	464 タイトル	307 タイトル	930 タイトル

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館除籍資料等を収集した。

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書	0 冊	0 冊	0 冊	0 冊
雑 誌	33 冊	197 冊	0 冊	230 冊

2 奉仕業務

(1) 調査相談業務

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料だけでなく外部データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や県内図書館等からの調査・相談に応じた。

また、国立国会図書館レファレンス協同データベースへの調査回答事例の提供や、千葉県歴史関係雑誌記事索引等の千葉県関係データベースの作成並びにパスファインダーの作成により調査支援ツールの充実に努めた。

中央図書館では、課題解決支援サービスの一環として、前年度設置した「くらしに役立つ法律・判例情報コーナー」に法律・判例関係資料を充実、関連情報の提供に努めるとともに、新規事業として、県民向けの課題解決支援講座「くらしに役立つ法律・判例情報講座(2回)」、中央・西部図書館主催の図書館職員向け研修「課題解決支援サービス研修会」を開催した。

<平成24年度実施事業>

事業名	事業計画	実施状況
【中央図書館】 くらしに役立つ法律・判例情報講座	全2回	4月15日(日) 「身近な法的トラブル解決法—法テラス千葉スタッフ弁護士からおくる豆知識」 講師 千葉県弁護士会所属法テラス千葉法律事務所スタッフ弁護士 村井宏彰氏 参加者37人 5月20日(日) 「判例に親しむデータベース活用法」 講師 第一法規株式会社データベース担当者 参加者29人
【西部図書館】 第1回課題解決支援サービス研修会 (公共図書館におけるビジネス支援)		7月13日(金) 「地域活性化をめざすビジネス支援サービス」 講師 千葉経済大学短期大学部准教授 齋藤誠一氏 「葛飾区立図書館におけるビジネス支援」 報告者 葛飾区立中央図書館職員 田中雅志氏

		千葉県立西部図書館におけるビジネス支援」 報告者 当館上級司書 忍足哲也 参加者 23人
【中央図書館】 課題解決支援サービス 研修会（第2回）	1回	9月26日（水） 内容「障害者サービス入門」 講師 佐藤聖一氏、齊藤禮子氏（埼玉県久喜 図書館） 参加者26人

（2）閲覧業務

9月1日から10月21日まで、県立3館内にて、県内の風景を紹介した図書館資料やパネル等の展示会「自慢したい千葉の風景～過去から・現在・そして未来へ～」を開催した。この展示会は、平成23年度第60回九都県市首脳会議での九都県市図書館連携企画「自慢したい風景」共通のテーマ企画展となった。

【中央図書館】

今年度上半期は、「定例おはなし会」に加え、昨年度の「ちいさいひとのおはなし会」を名称変更した「親子で楽しむえほんの会」等を開催した。また「子どもの本の読み聞かせ講座」等を実施した。

<平成24年度実施事業>

定例おはなし会	毎週土曜日 午後	25回実施 参加者延べ 99人 平均4.0人/回 語り手 当館児童資料室司書他
図書館活用ミニ講座	毎週金曜日	1回実施 参加者延べ3人 平均3人/回
書庫見学会	第2金曜日 第4日曜日他	全5回 参加者延べ10人 平均2人/回
親子で楽しむえほんの会	3回（隔月開催予定）	5月5日（土） 参加者 延べ9人 7月31日（火） 参加者 延べ9人 9月25日（土） 参加者 延べ7人 語り手 当館児童資料室司書他
映画「おかぐら」上映会(展示関連企画)		6月10日（日） 参加者 延べ35人
子どもの本の読み聞かせ講座	全2回	千葉会場 8月8日（水） 講師 入交静氏（「にんじん文庫」代表） 参加者48人 大多喜会場 1月予定 講師 小谷孝子氏（ゆか下文庫・予定）
障害者のための読書支援機器活用講座	全2回	第1回 8月23日（木）講師 森田茂樹氏 （ロービジョンケア） 参加者 5人 第2回 8月28日（火）講師 宇土修一氏 （株式会社アメディア） 参加者5人 参加者延べ10人 平均5人/回
アドベンチャーライブラリー	1回	8月24日（金） 参加者13人
障害者のためのサピエ図書館活用講座	1回	12月11日（火） 予定 講師 未定
障害者のための電子書籍活用講座	1回	未定
冬のおはなし会	1回	12月9日（日） 予定 語り手 当館児童資料室司書他
図書館音訳者養成講座	全2回	2月15日（金）、2月22日（金） 予定

出版放送関係への情報提供

番組名	内 容
NHK FM放送番組「ひるどき情報ちば」内「ひるどきブックセレクション」出演	毎月第3火曜日、NHK千葉放送局FM放送「ひるどき情報ちば」にて、中央図書館職員が県民の方々に読んで欲しい一般書や児童書を12回にわたり紹介する。

【西部図書館】

今年度上半期は、当館の特色（自然科学・工学）を活かした「サイエンス・カフェ」を開催した。障害者サービスについては、「DAISY編集講座」（3回）を実施した。

＜平成24年度実施事業＞

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
DAISY編集講座	全3回	5月30日（水）6月6日（水）20日（水） 講師 音訳者 岡英子氏、山田千江子氏 参加者延べ15人
サイエンス・カフェ	1回	7月1日（日） 「宇宙へのきぼう」 講師 千葉県立現代産業科学館 主任上席研究員 小池正樹氏 参加者38人
ライフプラン講座	1回	10月13日（土） 「定年退職後のマネープラン」 講師 千葉県金融広報委員会 金融広報アドバイザー 桶田勝氏 参加者29人
消費者自立支援講座 （ワンポイント図書館 活用講座を併催）	1回	12月1日（土）予定 「悪質商法の手口とトラブル対処法」 講師 千葉県消費生活指導員
中高年の再就職支援セミナー	全2回	12月12日（水）14日（金）予定 講師 千葉県ジョブサポートセンター 生活就労相談員
図書館音訳者養成講座 （中級）	全3回	1月9日（水）18日（金）23日（水）予定 講師 松本久美子氏（音訳指導者）
障害者用読書支援機器 活用講座	1回	1月30日（水）予定 講師 荒川明宏氏 （サピエ東京サポートセンター長）
健康・医療情報講座 （ワンポイント図書館 活用講座を併催）	1回	2月16日（土）予定 「知っていますか 冬でもこわい食中毒」 講師 松戸市健康福祉センター

【東部図書館】

障害者サービスについては、「図書館音訳者養成講座」を開催し、聴きやすい録音図書製作技術の習得を目指す。また、「名作映画鑑賞会」を旭DVD愛好会の協力を得て開催するとともに、図書館利用の一層の拡充を図るため、図書館見学と検索研修を行う「図書館ナビ」を実施した。

＜平成24年度実施事業＞

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
図書館音訳者養成講座	全4回	11月7日（水）、14日（水）、28日（水）、12月5日（水） 予定 講師 高山久美子氏 第1回「演習 1」 第2回「演習 2」 第3回「演習 3」 第4回「演習 4」

歴史講座	1回	12月8日(土) 「伊能忠敬ー伊能測量術を確立した第二次測量ー」 講師 伊能忠敬研究会理事 宮内敏氏
名作映画鑑賞会 毎月第3土曜日	全10回 (5回実施・5回予定)	4月21日「みずゞ」五十嵐匠監督 2001年 5月19日「別れの曲 ショパン」 ゲツァ・フォン・ボルヴァリー監督 1934年 6月16日「アレクセイと泉」 本橋成一監督 2002年 7月21日「海底王キートン」 バスター・キートン監督 1924年 9月15日「セカンド・コーラス」 ヘンリー・ポッター監督 1940年 10月20日「アルジャーノンに花束を」 ダヴィッド・デルリュウ監督 2006年 11月17日「西部の男」 ウィリアム・ワイラー監督 1940年 12月15日「キング・キング」 メリアン・C・クーパー監督 1933年 1月19日「氷雪の門 樺太1945年夏」 村山三男監督 1974年 3月16日「命のビザ」渡辺孝好監督 1992年 参加者延べ149人 平均30人/回
子ども文化芸術体験 児童図書コーナー	1回	8月18日(土)「小倉明さんの作品」等資料展 示 東総文化会館協力事業
図書館ナビ	第2土曜日・第4日曜日 (8回実施12回予定)	参加者延べ10人 平均1人/回
(仮称)シニア支援講座	1回	2月16日(土) 予定

3 協力・援助業務

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行った。また、県立3図書館間、県立図書館及び市町村立図書館間に連絡車・協力車を定期的に巡回させ、相互貸借の資料を搬送した。

さらに、市町村立図書館及び図書館未設置市町村公民館図書室等に対して、運営相談・協力レファレンス等を通じた援助を行うとともに、高校・大学及び類縁機関等との連携、読書活動の充実に努めた。

中央図書館では、平成23年9月より、奉仕地域内の高等学校・特別支援学校に対し、宅配便を利用した貸出資料の搬送を開始した。(9月30日現在 登録数 48校)

【県立図書館3館】

ア 市町村立図書館等相互協力担当者会議

10月18日(木) 市町村 76人出席(うち県立10名)

イ 相互協力ニュースの発行(3回)

【中央図書館】

ア 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行った。(貸出冊数 491冊)

イ 学校への講師派遣

保育等への進路を希望する生徒や図書委員会活動への支援のため、高等学校等へ絵本の読み聞かせについての講師派遣を行った。(延べ4校 派遣先：栄町立北辺田小、市原八幡高、松戸向陽高、柏井高)

ウ 県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会に協力して、千葉県読書グループ研修会を開催した。また、読書会用のテキストとして十冊文庫を整備した。

<十冊文庫整備予定数> 16タイトル(現総タイトル数 589)

【西部図書館】

ア 市立図書館等に対する支援

- ・管内市立図書館相互協力担当者会議の開催
5月17日(木) 20名出席(うち県立5名)
- ・メールマガジン「C a o C a o」の発行(2回)
- ・運営相談の実施(県機関2施設を含む延べ28回)

イ 高等学校等支援

- ・管内高等学校図書館担当者会議の開催
10月16日(火) 36名出席(うち県立4名)
- ・運営相談の実施(高校17校に対し延べ22回)
- ・レファレンス事例の配布

ウ 新聞雑誌総合目録データ

千葉県公共図書館協会加盟館及び千葉県文書館、千葉県立保健医療大学、さわやかちば県民プラザが所蔵する新聞・雑誌のデジタルデータを提出してもらい、県立図書館ホームページで公開した。

【東部図書館】

ア 市町立図書館及び未設置町公民館図書室に対する支援

- ・図書館及び公民館図書室等に対し延べ44回の運営相談を実施した。
- ・東部図書館で資料展示や資料紹介を行った資料を、希望する図書館及び公民館図書室等に一括して貸し出し、同じテーマで資料展示をしてもらい巡回展示を3回実施した。

イ 高等学校等支援

- ・東総地区高等学校図書委員連絡協議会と共催で総会及び研究会を開催。「本を聴く、触れる…図書館障害サービス」というテーマで、当館副主査・宮崎佳代子による講演・演習を行った。(生徒30人、引率職員13人)
- ・運営相談の実施
東部図書館奉仕対象地域内の高校20校及び大学2校に対し、延べ23回の運営相談を実施した。

4 広報・啓発業務

ア 企画展示の開催

県立3館合同企画展示(九都県市立図書館連携企画事業)「自慢したい千葉の風景～過去から・現在・そして未来へ～」平成24年9月1日(土)～10月21日(日)

5 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努めた。

【中央図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
公共図書館新任職員研修会	1 回	5月16日(水) 「公共図書館の役割、利用サービス、レファレンスサービス、児童サービス及び相互協力業務等」 講師 当館司書 伊藤, 押澤, 赤沼, 中野 参加者 94 人
公共図書館中堅職員研修会	1 回	10月12日(金) 「図書館における危機管理ートラブル対応をとおしてー」 講師 鏈水三千男氏(前千葉県労働委員会事務局次長) 参加者 32 人
児童サービス基礎研修会	全4回	第1回 6月28日(木) 「児童サービスの基本概念」講師 小廣早苗氏(佐倉市立志津図書館 司書) 参加者49人 第2回 7月5日(木) 「絵本・物語の選書について」講師 川崎玲子氏(千葉市若葉図書館 主査) 参加者48人 第3回 7月12日(木) 「ノンフィクションの選書について」講師 坂本恭子氏(八街市立図書館 主任司書) 参加者45人 第4回 10月11日(木)「レファレンスについて」「絵本の読み聞かせ演習」講師 当館司書 「YAサービスの動向と展望」講師 清野愛子氏(荒川区立町屋図書館 主任非常勤) 参加者62人
地域行政資料研修会	1 回	6月21日(木) 「地域行政資料の探し方入門」 講師 当館主査 古谷由美子、 上席司書 若本朋子 「郷土史の編集と出版」 講師 崙書房出版代表 小林規一氏 参加者 研修会32人、 講演会46人(うち一般参加9人)
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	1 回	6月15日(金) 「レファレンスサービス実践の基礎」 講師 当館上席司書 押澤裕子 「インターネットを活用した調べ方」 講師 当館司書 田中雅美 「クイックレファレンス演習・基本参考図書解題」 講師 当館上席司書 押澤裕子、 司書 田中雅美 参加者 48人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	1 回	25年1月31日(木) 予定 「これから求められるレファレンスサービスについて～地域で役に立つサービスと知識」 講師 昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科 教授 大串夏身氏
図書館長研究協議会	1 回	25年1月17日(木) 予定 「図書館の危機管理～減災対策について～」 講師 草津町立図書館 司書 中沢孝之氏
図書館音訳者養成講座	全2回 参加予定数45人	前掲(P3)

課題解決支援サービス研修会	1回	9月26日（水）講師 斎藤禮子氏（音訳者） 佐藤聖一氏（埼玉県立久喜図書館 主幹司書） 参加者21人
障害者のための読書支援機器活用講座	全2回	前掲（P3）
千葉県読書グループ研修会（協力）	1回	6月6日（水）「わたしの小説修行」 講師吉住侑子 参加者40人

【西部図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
障害者サービス研修会		6月22日（水）「サピエ図書館を活用した障害者の読書の現状と展望」講師 静岡県立大学国際関係学部教授 石川准氏 「録音（DAISY）資料製作に関する全国基準について」報告者 当館副主査 松井進 参加者 36人
第1回課題解決支援サービス研修会 （公共図書館におけるビジネス支援）		7月13日（金） 「地域活性化をめざすビジネス支援サービス」 講師 千葉経済大学短期大学部准教授 齋藤誠一氏 「葛飾区立図書館におけるビジネス支援」 報告者 葛飾区立中央図書館職員 田中雅志氏 「千葉県立西部図書館におけるビジネス支援」 報告者 当館上級司書 忍足哲也 参加者 23人
第3回課題解決支援サービス研修会	全1回 参加予定数 30人	11月15日（木） 「図書館が心がけるべき個人情報保護」 講師 文教大学越谷図書館司書 藤倉恵一氏
図書館音訳者養成講座（中級）	全3回	前掲（P4）

【東部図書館】

区 分	事 業 計 画	実 施 状 況
図書館運営研修会	1回	6月27日（水） 「学校図書館と公共図書館の連携のあり方～調べ学習を中心に～」 講師 袖ヶ浦市学校図書館支援センター 中村伸子氏 参加者 34人
読書施設担当職員・学校図書館職員のための県立図書館新システム操作研修会	1回 参加予定数15人	11月14日（水） 県立図書館新システムの操作について研修し、相互協力業務を円滑に行うために必要な技術を習得する 講師 当館職員
図書館音訳者養成講座	全4回 参加予定数44人	前掲（P4）

6 電算業務

《横断検索参加自治体及び施設一覧》

平成24年3月末現在

参加年度	参加自治体等
平成13年度	千葉市、市川市、佐倉市、浦安市、四街道市、南房総市、香取市
平成14年度	船橋市、成田市、八千代市、山武市、横芝光町
平成15年度	旭市、市原市、我孫子市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	松戸市、富里市、匝瑳市
平成17年度	東金市、君津市、白井市
平成18年度	銚子市、木更津市、印西市
平成19年度	野田市、茂原市、習志野市、流山市
平成20年度	館山市、柏市、大網白里町
平成21年度	鴨川市、鎌ヶ谷市、酒々井町、印旛村（現印西市）
平成22年度	東庄町、千葉大学附属図書館
平成23年度	（追加自治体等なし）

市町村の参加 33市4町1大学 計68館

(参考資料) 平成24年度図書館サービス目標【上半期(9月末現在)状況】

区分	サービス評価指標	平成23年度 上半期	平成24年度 上半期
基本項目	① 資料受入冊数	10,854 冊	8,609 冊
	② 来館者数	262,389 人	263,879 人
	③ レファレンス件数	17,011 件	16,442 件
	④ ホームページへのアクセス件数	277,961 件	212,424 件
区分	サービス評価指標	平成24年度達成目標	上半期状況
1 支 援 強 化 図 書 館 充 実 の た め の 市 町 村 立 図 書 館	⑤ 県立図書館蔵書貸出冊数	94,000冊 (平成23年度実績 93,221冊)	47,231冊 (50.2%)
	⑥ 市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数	86,300冊 (平成23年度実績 85,139冊)	46,205冊 (53.5%)
	⑦ 研修会の参加者数	600人 (平成23年度実績 603人)	534人 (89%)
	⑧ 研修会の講師件数	25件 (平成23年度実績 31件)	20件 (80%)
2 未 来 を 担 う 子 ど も の 読 書 活 動 の 推 進	⑨ 児童書の資料貸出冊数	36,000冊 (平成23年度実績 36,776冊)	20,419冊 (56.7%)
	⑩ 児童サービス研修会の開催回数	6回 (平成23年度実績 7回)	5回 (83.3%)
	⑪ 県立学校等への資料貸出冊数	13,400冊 (平成23年度実績 13,025冊)	6,861冊 (51.2%)
	⑫ 教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数	12回 (平成23年度実績 15回)	8回 (66.6%)
3 県 民 の 役 に 立 つ 資 料 ・ 情 報 提 供	⑬ 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例提供件数	65 件 (平成23年度実績 67件)	16件 (24.6%) ※役に立つデータを2月までに提供できるよう準備を進めている。
	⑭ 調べ方案内(パスファインダー)の作成件数	12件 (平成23年度実績 12件)	0 件 (0%) ※2月までに実施するよう準備を進めている。
	⑮ 録音図書貸出タイトル数	10,000タイトル (平成23年度実績 9,327タイトル)	6,071タイトル (60.7%)
	⑯ 図書館ボランティアの育成者数	280人 (平成23年度実績 282人)	63人 (22.5%) ※後半に、こどもの本の読み聞かせ講座(1月)、図書館音訳者養成講座(2月)等を開催予定
4 千 葉 県 に 関 する 情 報 の 蓄 積 、 資 料 継 承	⑰ 千葉県関係データベース入力件数	6,300件 (平成23年度実績 9,706件)	3,714件 (58.9%)
	⑱ 千葉県関係レファレンス件数	1,500件 (平成23年度実績 1,425件)	814件 (54.2%)
5 社 会 の 変 化 に 対 応 し た 図 書 館 サ ー ビ ス の 推 進	⑲ 来館者満足度	70%以上(満足度6段階の上位2段階) (平成23年度実績 74.1%)	(平成24年度実績) 74.3% ※平成24年10月10日～21日実施

「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画(素案)

千葉県立中央図書館
千葉県立西部図書館
千葉県立東部図書館

1 はじめに ー行動計画策定の趣旨ー

「いつでも、どこでも、だれでも」利用できるという公立図書館の基本理念を実現するため、千葉県立中央図書館、千葉県立西部図書館及び千葉県立東部図書館(以下「県立図書館」という。)は、県民に身近な市町村立図書館等が行うサービスを様々な形で支援し、県内全体の図書館サービスの向上を図っています。

また、県教育委員会では、平成6年に策定した「千葉県立図書館基本構想」以降、子どもの読書活動やIT化の推進、県民・地域の課題に対応した図書館サービスなど、図書館に求められている役割が大きく変化していることから、平成23年12月、これからの時代にふさわしい「千葉県立図書館の今後の在り方」(以下「在り方」という。)を策定しました。

この在り方第3章「これからの千葉県立図書館」では、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応えるとともに、県民が県内のどこに住んでいても等しく図書館サービスが受けられるよう、市町村立図書館等と連携・協力して読書環境の整備に努めることなどを「基本理念」とし、「県立図書館の役割と機能」(5項目)とともに、第3節「今後の図書館経営・施設整備の方向性」を掲げました。

そこで、県立図書館は、「これからの千葉県立図書館」を確実に実現するため、今後5年間の具体的な「行動計画」が必須であると考え、今後、重点的に取り組むべき事業についての行動計画を策定することとしました。

2 行動計画の実施期間

概ね5年間とします。

3 行動計画の評価と検証

今後の行動の取組については、「行動計画」を基にして、毎年度、「事業実施計画」を示すこととします。

また、「数値項目」については、3年後の「達成目標」を設定して「図書館サービス指標」とし、その達成状況を「毎年度実施結果」とともに自己点検や評価を行い、継続的に改善を図っていきます。さらに、行動計画の評価と検証を行い、検討・改善に努めるとともに、在り方の見直しを行う際の検証材料として活かしていきます。

4 行動計画の実施 ～6つのアクションと重点項目～

行動計画の実施に当たり、「在り方」における第2節「県立図書館の役割と機能」(5項目)及び第3節「今後の図書館経営・施設整備の方向性」を、6つのアクションとしました。その「現状」と「課題」を基に、平成29年度までに推進・解決すべき主な「重点事業」を取り上げて、「行動計画(年度別、重点的取組)」として設定しました。

併せて、行動計画の取組に関連する「数値目標」を記載しました。

<6つのアクションと重点項目>

- 1 市町村立図書館充実のための支援強化
 - (1) 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化
 - (2) 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施
- 2 未来を担う子どもの読書活動の推進
 - (1) 子どもの読書活動推進のセンター館機能の強化
 - (2) 学校図書館との連携・支援
- 3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及
 - (1) 県民の課題解決に対する支援
 - (2) 高齢者・障害者サービス等
- 4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承
 - (1) 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存
 - (2) 関係機関と連携した地域デジタル情報の収集・発信
- 5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進
 - (1) ITを活用したハイブリッド図書館の整備
 - (2) 県民に開かれた図書館経営
- 6 今後の図書館経営・施設整備の方向性
 - (1) 地域分担から機能強化へ
 - (2) 中央図書館の施設整備

行動計画に掲げた重点事業以外にも、推進・解決すべき項目があります。ここに示していない項目についても、日常の図書館のサービスや運営に取り組む中で、更に研究・改良して、県民の読書活動や生涯学習環境が、より一層充実できるよう、読書県「ちば」の推進に努めていきます。

「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画

I 市町村立図書館充実のための支援強化

住民の生涯学習と地域の発展を支える情報拠点としての機能を十二分に発揮し、充実した図書館サービスが行えるよう市町村立図書館を支援する。

1 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 資料搬送ネットワークの維持・改善	・県立図書館間は週2回の連絡便が巡回している。	・県立図書館間の巡回頻度が少ない。	現在の資料搬送ネットワークを継続するとともに課題について検討し、現状よりも多くの施設に、市町村で収集し難い資料収集を含め、迅速な資料提供ができるようにする。 <年度別> 25～26年度 図書館実態調査の実施(他都道府県、県内市町村) 27～28年度 調査結果の分析・対応検討 29年度 資料搬送ネットワークの改善 <重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・県立図書館の蔵書貸出促進 ・市町村立図書館等読書施設蔵書の相互貸借制度の整備促進	①県立図書館蔵書貸出冊数 ②市町村立図書館等蔵書貸出冊数
	・県内全市町村立図書館等読書施設と連携している。市町村の中心図書館等施設、大学図書館、類縁機関に毎週1回巡回している。(巡回館数 62館)	・協力車の巡回頻度が少ない。 ・大学図書館、類縁機関との連携が弱い。		
	【高等学校については、Ⅱ-2-1の項目参照】			
2 情報検索ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善	・市町村立図書館等読書施設(33市4町67館)と千葉大学附属図書館の計68館が参加し、横断的な蔵書検索が可能となっている。(千葉県内図書館横断検索システム)	・市町村立図書館等読書施設からもシステム改善の要望が出されているため、平成24年11月稼動の新システムで、ある程度改善できたが、更に改善の必要がある。	次期システムの更新(平成29年11月予定)に向けて更なる対象館の拡大とシステムの改良を行う。	③利用者アンケート満足度調査
			<年度別> 25～年度 次期システムの検討 26年度 県内図書館アンケート調査実施 27年度 調査結果の分析 29年度 システムの改善 <重点的取組> ・利用者ニーズの把握	
3 県内大学図書館、類縁機関とのネットワークづくりを推進	・千葉大学附属図書館が千葉県内図書館横断検索に参加し、県立図書館と相互貸借を実施している。 ・大学図書館6館、専門学校1校、類縁機関2機関に巡回し資料を搬送している。	・大学図書館、類縁機関等との連携施設数が少ない。 ・県立図書館の主な相互貸借は、千葉大学附属図書館、千葉県立保健医療大学図書館にとまっている。	・大学図書館については、千葉県立図書館横断検索への参加や相互貸借など、一層の連携や充実を図る。 ・類縁機関については、県の機関を中心に連携を推進し、千葉県関係資料のデータベースの一層の充実を図る。	④研修会の参加者数及び満足度
			<年度別> 25～28年度 大学図書館、類縁機関と連携について協議 29年度 新ネットワークの始動 <重点的取組> ・参加促進への広報活動	

2 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 図書館研修センターとしての機能強化	・市町村立図書館等読書施設職員を対象に、3館で15種30回の研修会を開催。	・西部・東部で開催する研修会は、周辺地域以外の図書館参加者が少ない。 ・千葉県公共図書館協会主催の研修会と連携した研修プログラムの開発が必要である。 ・非常勤職員、委託職員の参加が多く、研修内容や研修プログラムの見直しが必要である。 ・各職員のキャリア形成という点で、研修が体系化されていない。	・運営支援の一環として、全ての県内図書館等読書施設の職員が、図書館サービス向上のための研修を受けられるよう、千葉県公共図書館協会と連携した研修プログラムの開発を行う。 <年度別> 26年度 県内図書館アンケート調査実施 27～28年度 研修プログラムの検討 29年度 新プログラムによる研修開始 <重点的取組> ・研修事業参加啓発 ・魅力ある研修内容の充実	④研修会の参加者数及び満足度

II 未来を担う子どもの読書活動の推進

県内公立図書館のセンター館として、家庭、市町村立図書館、学校等における子どもの読書活動やこれに携わる人や機関等との連携協力の推進を図る。

1 子どもの読書活動推進センター館機能の強化

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 職員研修会の開催、運営相談の実施	・児童サービス基礎研修会を年4回開催するとともに、運営相談には適宜応じている。	・児童サービス基礎研修会は要望があるが、市町村での旅費や勤務体制などから連続研修への参加が難しくなっている。 ・経験年数2～3年(児童サービス基礎研修会修了者)担当者の研修が求められている。 ・市町村立図書館等読書施設への支援が十分行われていない。	・市町村立図書館等読書施設でも対応できるよう児童サービス担当職を育成する。 ・研修プログラム等の見直しを図る。 <年度別> 26年度 県内図書館アンケート調査の実施 27年度 事業内容の検討 28年度 新研修プログラムの始動	④研修会の参加者数及び満足度 ⑤児童サービス研修会開催回数
2 家庭における読書活動の推進	・各種ブックリスト(赤ちゃんへの贈り物・テーマ展示リスト)の配布、県生涯学習課で発行するリストへの協力実施。 ・学校や公民館、保育園等で読み聞かせのボランティアをしている方を対象とした子どもの本の読み聞かせ講座を毎年、県内2市町村で開催している。	・読み聞かせのボランティアをしている方に対する継続的な研修が求められている。	・講座プログラム等事業の見直しを図り、地域のボランティアとして活動できるよう支援する。 <年度別> 25～26年度 事業内容を再検討 27年度 新講座プログラムの実施	⑥図書館ボランティアの育成者数
3 ヤング・アダルトサービスの開発	・中高生、大学生の職場体験、インターンシップを積極的に受け入れている。 ・平成20年度から企画展示に合わせ近隣中学生を招き図書館活用説明会を開催(中央図書館)。	・中学生・高校生向けコーナー設置など、ヤングアダルト対象のサービスが求められている。 ・一般サービスとしてのヤングアダルトサービスの研修の場が無い(現状では児童サービスに含まれている)。	・10代の若者に対して進路や就職など必要な資料情報活用のための支援を行う。 ・10代に出会う多様なテーマや生き方を、読書を通じて支援していく。 <年度別> 26～27年度 サービス計画立案・策定 28年度 関係資料整備 29年度 サービスの開始	⑦児童書の貸出冊数 ⑧子ども読書支援関係のテーマ別リスト作成件数

2 学校図書館との連携・支援

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 学校向けの貸出用資料の整備	・平成23年度より、高等学校・特別支援学校用セットの整備を開始している。(学校用セット数69セット)	・資料の整備は、資料の入れ替えや新規のテーマについても整備していく必要がある。	・高等学校からの要望も取り入れながら、新規のテーマや既存のセットに新刊図書を組み入れる等、授業で利用できる資料整備を推進していく。 <年度別> 25～29年度 学校用セットの整備 26年度 学校図書館へのアンケート調査の実施	⑨高等学校への資料貸出冊数
2 物流ネットワークの整備	・西部・東部図書館は、エリア内は、巡回と最寄の市町村図書館や学校を経由して、資料を搬送している。(高等学校巡回校数 西部34校、東部11校) ・中央図書館は、リクエストがあった学校に対し、宅配便により資料を毎週搬送している。(高等学校配送校数 48校)	・利用があっても巡回できなかつたり、巡回していても利用のない学校もあるなど、搬送方法がニーズに対応できていない部分がある。	・現在の資料搬送ネットワークを継続するとともに課題について検討し、現状よりも多くの学校に、迅速な資料提供ができるよう効率的なネットワークを整備する。 <年度別> 26年度 学校図書館へのアンケート調査の実施 27～28年度 物流ネットワークの再構築 29年度 新ネットワークの開始	⑨高等学校への資料貸出冊数
3 小・中学校図書館との連携・支援	・市町村立図書館等と連携して、資料提供やテーマ別リストの作成、協力レファレンス、運営相談等の支援を行っている。	・図書館未設置市町村の学校図書館への支援が十分ではない。	・事業内容を再検討し、研修会の実施や講師の派遣など、図書館未設置市町村の学校図書館への支援方法等を検討し、実施していく。 <年度別> 25～26年度 図書館未設置市町村読書施設の実態調査 27～28年度 事業内容の再検討 29年度 図書館未設置市町村小中学校の図書館に対して、当該自治体と協力し支援を開始する。	⑩教職員等に対する研修会開催回数及び講師派遣件数

Ⅲ 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

県民や地域、行政が抱えている法律、医療・福祉の問題、まちづくりなどの課題を解決するための調査研究支援を先導して行うとともに、市町村立図書館等への普及を図る。

1 県民の課題解決に対する支援

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標		
1 課題解決支援サービスの実施及び市町村立図書館への普及	<ul style="list-style-type: none"> 県関係機関と連携した就職や消費者問題、健康問題等の講座、法テラスと連携した法律判例情報講座を開催。 市町村立図書館職員向けに、平成24年度から課題解決支援サービス研修会を開催。 政策立案のための行政関係への支援として、県庁各課・機関に対して資料や情報の提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館で課題解決支援サービスを行っていることが県民に周知されていない。 地域の課題に対応した市町村立図書館での課題解決支援サービス実施館が少ない。(12市の図書館で実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 県立3館の研修内容を精査し、千葉県公共図書館協会とも連携して開催する等市町村立図書館への普及を推進する。 地域の課題に対応した課題解決支援サービスのサービス計画の立案を支援するため、市町村立図書館等の相談に応じる。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25～26年度 事業内容の検証 (25年度～市町村立図書館主体の課題解決講座事業の相談対応開始) 27～29年度 研修会のプログラム再編 </td> <td> <重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実 </td> </tr> </table>	<年度別> 25～26年度 事業内容の検証 (25年度～市町村立図書館主体の課題解決講座事業の相談対応開始) 27～29年度 研修会のプログラム再編	<重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実	④研修会の参加者数及び満足度
<年度別> 25～26年度 事業内容の検証 (25年度～市町村立図書館主体の課題解決講座事業の相談対応開始) 27～29年度 研修会のプログラム再編	<重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実					
2 レファレンス事例集紹介、調べ案内、リンク集の作成	<ul style="list-style-type: none"> レファレンスデータやパスファインダー(調べ案内)、リンク集を作成、県民や市町村立図書館がホームページから検索できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズに対応した提供ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズを把握し、作成件数を増加しながら、既存のものについても常に最新のものに更新していく。 作成にあたっては、県行政機関の広報活動支援の一助となるよう各機関が発信する情報の収集及び提供に努める。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25～29年度 利用者ニーズの把握・検討 データの新規作成及び更新 </td> <td> <重点的取組> ・ニーズに合わせたデータ作成と提供 </td> </tr> </table>	<年度別> 25～29年度 利用者ニーズの把握・検討 データの新規作成及び更新	<重点的取組> ・ニーズに合わせたデータ作成と提供	①国会図書館レファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)提供件数 ②パスファインダー(調べ案内)の作成件数
<年度別> 25～29年度 利用者ニーズの把握・検討 データの新規作成及び更新	<重点的取組> ・ニーズに合わせたデータ作成と提供					
3 商用データベースの積極的導入	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事や法律関係のデータベースを導入して、県民や図書館からのレファレンスサービスに迅速に対応できるよう配慮している。 検索技術のガイダンスを開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> データベースの種類が少なく、導入した館でも利用できないデータベースが多い。 ガイダンスの開催時期が不定期である。 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的且つ効率的な導入方法を検討し、専門的なレファレンスに迅速に対応できるようにする。 多くの来館者が操作方法を修得できるよう分かり易く、魅力的なガイダンスを定期開催する。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25年度 ガイダンスの検討・実施 25～28年度 データベースの導入方法の検討 29年度 導入方法の変更 </td> <td> <重点的取組> ・館内で利用できるデータベースの調査と紹介 ・ニーズに合わせたガイダンス実施 </td> </tr> </table>	<年度別> 25年度 ガイダンスの検討・実施 25～28年度 データベースの導入方法の検討 29年度 導入方法の変更	<重点的取組> ・館内で利用できるデータベースの調査と紹介 ・ニーズに合わせたガイダンス実施	
<年度別> 25年度 ガイダンスの検討・実施 25～28年度 データベースの導入方法の検討 29年度 導入方法の変更	<重点的取組> ・館内で利用できるデータベースの調査と紹介 ・ニーズに合わせたガイダンス実施					

2 高齢者・障害者サービス等

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標		
1 バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館は昭和43年建設で、バリアフリーとしての施設対応がなされていない。 平成24年11月のホームページリニューアルにより、障害者用のページ設定が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設面、利用面でバリアフリー化の推進が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震化改修後のリニューアルに向けて、次期システムの更新も視野に入れてワンストップサービスの実現や書庫出納の迅速化等施設面、情報面においてバリアフリー化を推進する。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25～26年度 基本・実施設計 27～29年度 耐震等改修工事 次期システム検討・更新 </td> <td> <重点的取組> ・計画的な施設改修実施 ・ニーズの把握と検討 </td> </tr> </table>	<年度別> 25～26年度 基本・実施設計 27～29年度 耐震等改修工事 次期システム検討・更新	<重点的取組> ・計画的な施設改修実施 ・ニーズの把握と検討	
<年度別> 25～26年度 基本・実施設計 27～29年度 耐震等改修工事 次期システム検討・更新	<重点的取組> ・計画的な施設改修実施 ・ニーズの把握と検討					
2 高齢者サービスの開発	<ul style="list-style-type: none"> 大活字資料を収集し利用に供している。(平成23年度末所蔵大活字図書 5,254冊) 平成24年度中にシニア向け講座を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会が進む中で、今後もシニア世代の図書館利用増が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係資料や拡大読書器等の提供とともに、講座開催など、シニア向けサービスを検討、実施する。 県行政関係機関の広報活動と連携した講座・研修事業を検討、実施する。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25～26年度 先進事例調査 27年度 課題と対応案の検討 28年度 事業内容の検討 29年度 サービスの実施 </td> <td> <重点的取組> ・ニーズの把握と検討 </td> </tr> </table>	<年度別> 25～26年度 先進事例調査 27年度 課題と対応案の検討 28年度 事業内容の検討 29年度 サービスの実施	<重点的取組> ・ニーズの把握と検討	
<年度別> 25～26年度 先進事例調査 27年度 課題と対応案の検討 28年度 事業内容の検討 29年度 サービスの実施	<重点的取組> ・ニーズの把握と検討					
3 障害者サービスの充実・市町村立図書館への普及	<ul style="list-style-type: none"> 録音図書の製作・貸出しや対面朗読サービスを実施するとともに障害者サービス研修会を年1回開催し、市町村立図書館への普及を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 視覚障害者以外の、肢体不自由、知的障害等活字による読書が困難な他の障害者に対するサービスを充実する必要がある。 県内市町村立図書館の障害者サービスが十分に普及していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 県や市町村の担当課、特別支援学校、関係団体等と連携した広報活動を行う。 県や市町村の社会福祉協議会などを通して利用者ニーズを把握し、サービスの充実を図る。 市町村立図書館で事業を行う重要性が理解できるよう研修事業を見直す。 <table border="1"> <tr> <td> <年度別> 25年度 広報計画の作成 26年度 研修事業の見直し、広報事業開始 27年度～ 新研修プログラムの実施 </td> <td> <重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実 </td> </tr> </table>	<年度別> 25年度 広報計画の作成 26年度 研修事業の見直し、広報事業開始 27年度～ 新研修プログラムの実施	<重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実	⑬録音図書貸出タイトル数及び利用者満足度
<年度別> 25年度 広報計画の作成 26年度 研修事業の見直し、広報事業開始 27年度～ 新研修プログラムの実施	<重点的取組> ・利用促進への広報活動 ・市町村啓発を含めた研修内容の充実					

IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

千葉県や県内市町村に関する資料を網羅的に収集・保存し、将来にわたって利用できるようにするとともに、千葉県に関する情報窓口として様々な情報を発信していく。

1 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存	・収集については、資料を購入や寄贈により積極的に収集している。 (平成23年度千葉県資料収集冊数 3,188冊)	・市町村の地域・行政資料収集が十分ではない。 ・インターネットでしか見られない資料が増加している。 ・印刷媒体での利用もあり、印刷、収集する際に、著作権者の許諾が必要な場合がある。	・網羅的収集ができるよう地域・行政資料等の積極的な収集体制づくりを進める。 ・インターネット上の資料を図書館情報システムの中で収集・閲覧できるよう、著作権者の許諾対応など研究していく。 <年度別> 26年度 都道府県立図書館の調査 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新 <重点的取組> ・効率的な収集方法の検討 ・ニーズの調査による関連情報の把握と検討・実施	
2 千葉県関係資料インターネット情報検索機能の充実	・県立図書館以外のデータベースは、平成24年11月から博物館や文書館、総合教育センターの所蔵資料のデータベースを横断的に検索できるようになった。	・一般公開しているデータベースや県内機関のデータベース横断検索が充実していない。	・県機関で所有している小規模な資料データベースや音声や映像等の資料以外のデータベースについても横断的に検索できるよう研究する。 <年度別> 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新 <重点的取組> ・ニーズの調査による関連情報の把握と検討	
3 千葉県関係の情報検索ツールの充実	・パスファインダー(調べ案内)、レファレンスデータを作成・入力し、ホームページ上で利用できるようにしている。 ・千葉県関係索引データ(新聞雑誌記事索引、人名索引、歴史関係雑誌記事索引)を作成・入力し、ホームページ上で検索・利用できるようにしている。	・千葉県関係索引データが未整備である。 ア 千葉日報(昭和62年6月以前の情報) イ 東部地域以外の市町村史の人名 ウ 歴史関係以外の雑誌記事	・利用者ニーズを把握し、作成件数を増加していく。 ・千葉県関係索引データ選及入力について検討し、計画的に輸入していく。 <年度別> 25年度 選及入力計画の検討 26～29年度 入力作業の実施 <重点的取組> ・ニーズに合わせたデータ作成と提供	①国会図書館レファレンス協同データベース提供件数 ②パスファインダー(調べ案内)の作成件数 ④千葉県関係索引入力件数
4 千葉県関係レファレンスデータベースの構築	・市町村立図書館では、住民の求める事項について、資料及び情報の提供又は紹介などを行うレファレンスサービスの充実・高度化が求められている。 (「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」)	・レファレンスデータベースの公開、データベースの作成・蓄積を指導・助言していく必要がある。	・県内図書館のレファレンスデータベースの実態調査を行うとともに、千葉県関係レファレンスデータベースの構築を次期システムに向けて検討する。 <年度別> 25年度 事業内容の検討 26年度 県内図書館実態調査 27～28年度 情報提供システムの検討 29年度 次期システムの更新 <重点的取組> ・システム構築に向けての検討(図書館職員の専門性向上等含む)	
5 資料の劣化防止のためのマイクロフィルム化やデジタル化の推進	・千葉県に関する所蔵資料(江戸時代刊行和装本等)をマイクロフィルム化及びデジタル化し、ホームページでの閲覧ができるようにした。 (平成23年度末デジタル化件数 1,997件)	・明治以降の所蔵資料デジタル化が進んでいない。 ・国立国会図書館所蔵のデジタル化資料の整備が進み、千葉県関係資料も含まれるようになったが内容把握が出来ていない。 ・虫損や酸化などによる劣化を防ぎ、原本の現状維持を図る必要がある。	・明治以降に刊行された資料についても劣化が進んでいるので、保存対策を検討し、計画的にマイクロフィルム化及びデジタル化を計画的に進めていく。 ・国立国会図書館デジタル化資料における千葉県関係資料の活用を図る。 <年度別> 25年度 デジタル化計画の作成 26年度 著作権処理対応などの調査 27～29年度 マイクロフィルム及びデジタル化 <重点的取組> ・劣化状況の把握と効率的な対応策の検討	

2 関係機関と連携した地域デジタル情報の収集・発信

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 関係機関との連携による利用の拡大	・博物館等類縁機関内でのデジタル情報の共有化は行っていない。	・博物館等の所蔵資料をデジタル化したものを含めた「デジタル化情報一覧」が無い。	・次期システムに向けて、県行政機関及び博物館等類縁機関と協議し、デジタル情報の共有化を研究していく。 <年度別> 25～26年度 類縁機関との協議 27～28年度 次期システムの検討 29年度 県内デジタル図書館サービス開始 <重点的取組> ・対象機関との連携調整	

V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

情報環境の急激な変化に対応した新しい図書館サービスを推進するとともに、県民に開かれた図書館経営を行うため、利用者への情報提供や広報を積極的に行う。

1 ITを活用したハイブリッド図書館の整備

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 資料のデジタル化や電子書籍によるハイブリッド図書館		・資料のデジタル化 ・電子書籍サービス IV-1-5 V-1-2	・紙媒体の資料、視聴覚資料とともに「資料のデジタル化」を進め、併せて電子書籍サービスを試行しながら県民ニーズに対応した情報提供サービスの充実を図る。	
2 電子書籍サービス	・平成24年11月の電算システム更新を契機に電子書籍サービスの検討を行っている。	・民間や国レベルでの電子書籍対応が進む中で、県立図書館としての対応が求められている。	・民間や国立国会図書館の動向を踏まえ、電子書籍サービスを開始する。 ・サービスを施行する中では、市町村立図書館でも開始できるよう調査・検証して <年度別> 25年度 中央図書館でサービス試行開始 26~28年度 サービスの検証、他県調査 29年度 次期システムの検討	

2 県民に開かれた図書館経営

重点事業	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 図書館の広報戦略の強化	・定期的に館報を発行するとともに、ホームページ上で様々な情報発信を行っている。	・平成20年2月に県生涯学習課が、県内小・中・高・特別支援学校の生徒及び保護者並びに市町村立公民館及び図書館来館者を対象に行ったアンケート調査では、「知らない」「利用したことがない」が多数を占めており、積極的な広報が必要である。	・県民ニーズを理解し反映するための定期的調査を行い、年間事業計画をたて、県や市町村とも連携し、県内図書館利用促進を含めた実施事業の広報を継続して行っていく。 <年度別> 25~29年度 広報計画の作成と実践 利用者アンケート調査実施 (非来館者対象の県立図書館アンケート調査検討)	③利用者アンケート満足度調査

VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性

中央図書館を中核に、3館が一体となって機能強化を図るため、組織体制やサービス内容の見直しを行うとともに、老朽化した中央図書館の施設整備をすすめる。

	現状(平成24年度当初)	課題	行動計画	数値目標
1 地域分担から機能強化へ	・3館が連携して、来館とともに県内市町村立図書館等読書施設を支援することで、県民の課題解決支援や読書活動が充実するようにしている。	・少子高齢化及び高度情報化社会、市町村立図書館の発展等社会情勢の変化に対応した県民の課題解決や読書活動の支援が効果的・効率的に行われていない。	・県民ニーズや時代に対応した図書館サービスを実践するため、組織体制やサービス内容の見直しを行う。 ・県立図書館司書の専門的知識・経験を活かしながら、数値目標と図書館関係の調査実施などを通じて、自己点検と外部評価により、効果的・効率的な図書館経営を進める。 ・3館が収集分担を明確にし、連携して市町村立図書館が収集し難い資料を多く収集・保存し、提供できるようにする。 <年度別> 25~28年度 組織体制及びサービス見直し及び県民ニーズの把握、検証 29年度 「在り方」の見直し	③利用者アンケート満足度調査
2 中央図書館の施設整備	・中央図書館は昭和43年建設で、耐震化・老朽化・バリアフリー化など施設対応がなされていない。 ・書庫は、昭和59年(第二次増築)以後、増築がされていない。 ・西部及び東部図書館へ資料を移動している。(図書・雑誌を約16万冊移動)	・施設の耐震化・老朽化対策が急務である。 ・施設のバリアフリー化が必要である。 ・西部・東部図書館を含め、書庫の狭隘化対策が喫緊の課題となっている。	・利用者の安全確保を第一に、適正な運営に必要な施設面の整備を推進する。 ・書庫の狭隘化対策を施設面・運営面の双方で検討していく。 <年度別> 25~26年度 基本・実施設計 27~29年度 耐震等改修工事	

(参考1)

数値項目一覧表(平成24年度の現状と3年後の目標数値)

(※目標数値は3年間の平均値または累積数とする。)

行動計画	数値項目	基本数値 24年度	目標数値(※) 27年度	H24年度 評価指標	
I 市町村立図書館充実のための支援強化	1 県立図書館蔵書貸出冊数 (I-1-1 資料搬送ネットワークの維持・改善)	冊	平均	⑤	
	2 市町村立図書館等読書施設蔵書貸出冊数 (I-1-1 資料搬送ネットワークの維持・改善)	冊	平均	⑥	
	3 利用者アンケート満足度調査 (I-1-2 検索情報ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善)	%以上 (実績 %)	平均	%以上	⑱
	4 研修会の参加者数及び満足度 (I-2-1 図書館研修センターとしての機能強化)	人 【未調査】 (講座の理解度と満足度)	平均	人 %以上 (講座の理解度と満足度)	⑦ 【⑧変更※1】
II 未来を担う子どもの読書活動の推進	研修会の参加者数及び満足度 (II-1-1 職員研修会の開催、運営相談の実施)	【再出 4】			
	5 児童サービス研修会開催回数 (II-1-1 職員研修会の開催、運営相談の実施)	人	平均	⑩	
	6 図書館ボランティアの育成者数 (II-1-2 家庭における読書活動の推進)	人	平均	⑯	
	7 児童書の貸出冊数 (II-1-3 ヤング・アダルトサービスの開発)	冊	平均	冊	⑨
	8 子ども読書支援関係のテーマ別リスト作成件数 (II-1-3 ヤング・アダルトサービスの開発)		累計	件	(新規)
	9 県立学校等への資料貸出冊数 (II-2-1 学校向けの貸出用資料の整備)	冊	平均	冊	⑪
	県立学校等への資料貸出冊数 (II-2-2 物流ネットワークの整備)	【再出 9】			
	10 教職員等に対する研修会開催回数及び講師派遣件数 (II-2-3 小・中学校図書館との連携・支援)	回	件	平均 回	件 ⑫
	III 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及	研修会の参加者数及び満足度 (III-1-1 課題解決支援サービスの実施及び市町村図書館への普及)	【再出 4】		
		11 国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数 (III-1-2 レファレンス事例紹介、調べ案内、リンク集の作成)	件	累計	計
12 パスファインダー(調べ案内)の作成件数 (III-1-2 レファレンス事例紹介、調べ案内、リンク集の作成)		件	累	計	⑭
13 録音図書貸出タイトル数及び利用者満足度 (III-2-3 障害者サービスの充実・市町村図書館への普及)		タイトル 【未調査】	平均	タイト %以上	⑮ (新規)満足度
IV 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承	国立国会図書館のレファレンス協同データベース(レファレンス事例集紹介)への事例提供件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	【再出 11】			
	パスファインダー(調べ案内)の作成件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	【再出 12】			
	14 千葉県関係索引入力件数 (IV-1-3 千葉県関係の情報検索ツールの充実)	件	累	計	⑰
V 社会の変化に対応した図書館サービスの推進	利用者アンケート満足度調査 (V-2 図書館の広報戦略の強化)	【再出 3】			
VI 今後の図書館経営・施設整備の方向性	利用者アンケート満足度調査 (VI-1 地域分担から機能分担へ)	【再出 3】			

基本項目(数値目標とはせずに単に指標として扱う項目)

区分	項目	【基本値】 24年度	前年度 【23年度】	H24年度 評価指標
基本項目	15 資料受入冊数 (うち 千葉県関係資料受入冊数)	冊 (冊)	冊 (冊)	① (追加)
	16 来館者数	人	人	②
	17 レファレンス件数 【内数】 A 千葉県関係レファレンス件数 B 県内市町村等協力レファレンス件数	件 (A 件、 B市町村 件、 学校 件)	件 (A 件、 B市町村 件、 学校 件)	③ (A⑱※2) (B追加)
	18 ホームページへのアクセス件数	件	件	④

※1 平成24年度の⑧講師件数は事業報告で示す。

※2 レファレンス件数の内数に「⑱千葉県関係」と「(新規)相互協力」を表示する。

平成24年度数値項目(図書館サービス評価指標)

区分	No.	サービス評価指標
基本項目	①	資料受入冊数
	②	来館者数
	③	レファレンス件数
	④	ホームページへのアクセス件数
<1 市町村図書館充実のための支援強化>		
	⑤	県立図書館蔵書貸出冊数
	⑥	市町村立図書館等蔵書の相互貸借冊数
	⑦	研修会の参加者数
	⑧	研修会の講師件数
<2 未来を担う子どもの読書活動の推進>		
	⑨	児童書の資料貸出冊数
	⑩	児童サービス研修会の開催回数
	⑪	県立学校等への資料貸出冊数
	⑫	教職員等に対する研修等の開催回数及び講師派遣件数
<3 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及>		
	⑬	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例提供件数
	⑭	調べ案内(パスファインダー)の作成件数
	⑮	録音図書貸出タイトル数
	⑯	図書館ボランティアの育成者数
<4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承>		
	⑰	千葉県関係データベース入力件数
	⑱	千葉県関係レファレンス件数
<5 社会の変化に対応した図書館サービスの推進>		
	⑲	来館者満足度

< >内は「千葉県立図書館の今後の在り方」の「県立図書館の役割と機能」項目

(参考2) 年度別行動計画 一覧表

項番	重点事業	行動計画	年 度				
			25	26	27	28	29
I-1-1	資料搬送ネットワークの維持・改善	図書館実態調査の実施(他都道府県、県内市町村)	●	●			
		調査結果の分析・対応検討			●	●	
		資料搬送ネットワークの改善					●
I-1-2	情報検索ネットワークシステム(横断検索システム)の維持・改善	次期システムの検討	●	●	●	●	●
		県内図書館アンケート調査実施		●			
		調査結果分析			●		
		システムの改善					●
I-1-3	県内大学図書館、類縁機関とのネットワークづくりを推進	大学図書館、類縁機関と連携について協議	●	●	●	●	
		新ネットワークの始動					●
I-2-1	図書館研修センターとしての機能強化	県内図書館アンケート調査実施		●			
		研修プログラムの検討			●	●	
		新プログラムによる研修開始					●
II-1-1	(児童サービス)職員研修会の開催、運営相談の実施	県内図書館アンケート調査の実施		●			
		事業内容の検討			●		
		新研修プログラムの始動				●	
II-1-2	家庭における読書活動の推進	事業内容を再検討	●	●			
		新講座プログラムの実施			●		
II-1-3	ヤング・アダルトサービスの開発	サービス計画立案・策定		●	●		
		関係資料整備				●	
		サービスの開始					●
II-2-1	学校向けの貸出用資料の整備	学校用セットの整備	●	●	●	●	●
		学校図書館へのアンケート調査の実施		●			
II-2-2	物流ネットワーク(学校)の整備	学校図書館へのアンケート調査の実施		●			
		物流ネットワークの再構築			●	●	
		新ネットワークの開始					●
II-2-3	小・中学校図書館との連携・支援	図書館未設置市町村読書施設の実態調査	●	●			
		事業内容の再検討			●	●	
		図書館未設置市町村小中学校への間接的支援開始					●
III-1-1	課題解決支援サービスの実施及び市町村図書館への普及	事業内容の検証	●	●			
		市町村図書館主体の課題解決講座始業の相談対応	●	●	●	●	●
		研修会のプログラム再編		●	●	●	●
III-1-2	レファレンス事例集紹介、調べ方案内、リンク集の作成	利用者ニーズの把握・検討データの新規作成及び更新	●	●	●	●	●
III-1-3	商用データベースの積極的導入	ガイダンスの検討・実施	●				
		データベースの導入方法の検討	●	●	●	●	
		導入方法の変更					●

項番	重点事業	行動計画	年 度				
			25	26	27	28	29
III-2-1	バリアフリー化の推進	基本・実施設計	●	●			
		耐震等改修工事			●	●	●
		次期システム(ソフト)検討・更新			●	●	●
III-2-2	高齢者サービスの開発	先進事例調査	●	●			
		課題と対応案の検討			●		
		事業内容の検討				●	
		サービスの実施					●
III-2-3	障害者サービスの充実・市町村図書館への普及	広報計画の作成	●				
		研修事業の見直し、広報事業開始		●			
		新研修プログラムの実施			●		
IV-1-1	千葉県関係資料の網羅的収集整備、保存	都道府県立図書館の調査		●			
		情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの検討・更新					●
IV-1-2	千葉県関係資料インターネット情報検索機能の充実	情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの更新					●
IV-1-3	千葉県関係の情報検索ツールの充実	遊及入力計画の検討	●				
		入力作業の実施		●	●	●	●
IV-1-4	千葉県関係レファレンスデータベースの構築	事業内容の検討	●				
		県内図書館実態調査		●			
		情報提供システムの検討			●	●	
		次期システムの更新					●
IV-1-5	資料の劣化防止のためのマイクロフィルム化やデジタル化の推進	デジタル化計画の作成	●				
		著作権処理対応などの調査		●			
		マイクロフィルム及びデジタル化			●	●	●
IV-2-1	関係機関との連携による利用の拡大	類縁機関との協議	●	●			
		次期システムの検討			●	●	
		県内デジタル図書館サービス開始					●
V-1-2	電子書籍サービス	中央図書館でサービス試行開始	●				
		サービスの検証、他県調査		●	●	●	
		次期システムの検討					●
V-2-1	図書館の広報戦略の強化	広報計画の作成と実践、利用者アンケート調査実施(非来館者対象の県立図書館アンケート調査検討)	●	●	●	●	●
VI-1	地域分担から機能強化へ	組織体制及びサービス見直し及び県民ニーズの把握、検証	●	●	●	●	
		「在り方」の見直し					●
VI-2	中央図書館の施設整備	基本・実施設計	●	●			
		耐震等改修工事			●	●	●

千葉県立図書館の今後の在り方〈概要〉

～つなげよう千葉の叡智－情報拠点としての図書館～

平成6年に策定した「千葉県立図書館基本構想」以降、子どもの読書活動やIT化の推進、県民や地域の課題に対応した図書館サービス等、図書館に求められる役割が大きく変化しているため、これからの時代にふさわしい県立図書館の新しい在り方を策定することとしました。

1 基本理念

県立図書館は、社会の変化に迅速・的確に対応する図書館として、中央図書館・西部図書館・東部図書館の3館が密接に連携し、機能強化を図ります。また、県内図書館ネットワークの中核として、県民の身近な市町村立図書館等の充実・振興に向けた積極的な支援に努めます。

○『読書県「ちば」』を実現する図書館

未来を担う子どもの読書活動を推進するセンター館として、家庭、市町村立図書館、学校等における子どもの読書活動を積極的に推進し、「教育立県ちば」の土台づくりとなる『読書県「ちば」』を実現する図書館を目指します。

○ 県民の役に立つ図書館

県民や地域が抱える様々な課題解決支援や、インターネットを活用した非来館型サービスの充実を図るとともに、市町村立図書館のモデルとなる先導的事業の普及により、県民が自ら学び、考えるための情報拠点として、県民の役に立つ図書館を目指します。

○「ちば文化」を創造する図書館

千葉県に関する様々な資料を収集整備するとともに、県民誰もが郷土千葉県を知り、学ぶことができるよう資料・情報の提供や検索ツールの充実、貴重な資料のデジタル化等の取組を進め、ちばの文化を継承し未来へつなげ、新しい「ちば文化」を創造する図書館を目指します。

2 県立図書館の役割と機能

(1) 市町村立図書館充実のための支援強化

- ア 県内図書館ネットワークの中核的機能の強化
- イ 市町村立図書館への運営支援
- ウ 新しい図書館サービス実施のための職員研修プログラムの開発・実施
- エ 図書館未設置市町村への支援
- オ 市町村立図書館で収集し難い資料の収集、提供、保存

(2) 未来を担う子どもの読書活動の推進

- ア 子どもの読書活動推進のセンター館機能の強化
- イ 学校図書館との連携・支援

(3) 県民の役に立つ資料・情報提供サービスの普及

- ア 県民の課題解決に対する支援
- イ 高齢者・障害者サービス等
- ウ 政策立案のための行政関係への支援

(4) 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ア 千葉県関係資料の網羅的収集、提供、保存
- イ 関係機関と連携した地域デジタル情報の収集・発信

(5) 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

- ア ITを活用したハイブリッド図書館
- イ 新しいサービスやサービス評価方法等の調査・研究開発
- ウ 県民に開かれた図書館経営

3 今後の図書館経営・施設整備の方向性

(1) 地域分担から機能強化

従来の、県内を4地域に分けて、各地域に県立図書館を設置し、地域分担して地域内の図書館サービスの向上を図るという考え方を改め、中央図書館を県立図書館の中核と位置付け、中央図書館・西部図書館・東部図書館の3館が一体となって県内の図書館活動の充実・振興を図ることができるよう機能を強化していきます。

西部図書館	中央図書館	東部図書館
サービス実施・普及	《県立図書館サービスのセンター館》	サービス実施・普及
<ul style="list-style-type: none"> ・先進的図書館サービス機能 ・課題解決支援サービス機能 ・市町村職員等の地区別研修館機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館サービスの全体調整と企画を担う機能 ・図書館ネットワークのセンター館機能 ・子どもの読書活動推進のセンター館機能 ・千葉県関係資料・情報収集提供サービス機能 ・先進的図書館サービスの調査・研究機能 ・課題解決支援サービス機能 ・県下全域の市町村図書館職員等の研修センター館機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的図書館サービス機能 ・課題解決支援サービス機能 ・市町村職員等の地区別研修館機能 ・地域の小規模図書館等への支援機能

(2) 中央図書館の施設整備

中央図書館は、昭和43年に竣工した建物で、耐震強度が不足するとともに建物・設備が老朽化しており、今後、県立図書館サービスのセンター館としての機能を十分に果たすため、耐震改修等の必要な施設整備を目指します。

(3) 必要に応じた見直し

今後も、新しい時代における図書館の経営とサービス、IT化・電子書籍や市町村支援への対応など、県内図書館活動の先導役としての県立図書館の在り方を検討し、5、6年ごとに見直していきます。